

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
1	池田議員 (自民)	・食品ロス削減について	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減の推進について、企業との連携やフードドライブの試行結果など環境モデル都市千代田区としてこれまでの取り組みの進捗状況を伺う。 ・食育教育にもつなげる災害対策用の備蓄物資の再活用の検証 ・食品ロス削減を契機とした家庭での取り組みなど環境教育について教育委員会としての考え方を伺う。 ・啓発活動をもっと積極的に行うべきと考える。 ・千代田区版食品ロス削減推進計画の策定を求める。 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	西岡議員 (自民)	=子育て施策= <ul style="list-style-type: none"> ●保育園、幼稚園の 防犯、警備体制について ●本区での給食等の提供体制 及び栄養バランス管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場や時代に適合された防犯マニュアルの構築と見直しが必要ではないか 近年、不審者が園児を狙う事件等もあり、本区での安全対策を問う ・各学校園での献立メニューに長期に渡り「牛肉」が食材として除外されている。 栄養バランスを考慮し、献立内に牛肉メニューを加えてはどうか ・各園での夕食、朝食、補食も時代のニーズに添って提供、内容を見直してはどうか ・特定給食施設指導はどの様に機能しているのか問う 	教 育 長 関 係 理 事 者
3	米田議員 (公明)	うつ病対策・自殺予防対策について	コロナ禍で「うつ」になり、自殺をする人が急増している。また様々な悩みをかかえ「うつ」の一手手前の方々も多くいる。そのような方々をどのように見つけだし自殺防止につなげていくか、区としての基本的な考え方を伺う。また防止対策の新たな対策を提案する。	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	米田議員 (公明)	地域気象防災支援のための気象庁等による取り組みについて	気象庁では、地域防災支援の取り組みを推進しており、地域交流人材配置による「担当チーム」を気象台にて編成し、担当地域を固定することにより各市区町村固有の課題への対応を含め市区町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築する、とされている。具体的な取り組みとして、平常時には、気象防災ワークショップなどの開催や、防災気象情報の地域ごとの活用についての共有などが行われ、災害時には、早い段階からの記者会見などを実施し住民に見通しを伝えるとともにホットラインによる首長への助言なども行うとされている。 本区における地元気象台との連携状況について伺う。	区 長 関係 理事 者
4	牛尾議員 (共産)	(1) コロナ感染拡大で大きな影響を受けた子育て世代への支援の強化を (2) 不登校対策について	①コロナで影響を受けた子育て世代への支援、特に子どもの教育に掛かる費用への支援について問う。 ②義務教育での私費負担のうち特に比重が大きい学校給食費の無償化などの施策を問う。 ①高校生の不登校対策について区の認識を問う。 また区の不登校対策について問う。	区 長 教 育 長 関係 理事 者
5	飯島議員 (共産)	骨密度測定の周知と拡充を 「本格的な遊び場」について	女性は40代後半以降骨粗しょう症になりやすく、骨折が介護の重度化の原因となることが多い。 それを予防するために、40代後半の女性を対象に、骨粗しょう症の予防についての周知と、骨密度測定を検診に加えることを求める 一定の広さのある遊び場・広場は増えたが、いずれも再開発までの暫定利用にすぎない。 「子どもの遊び場確保に関する検討会」で論議された「本格的な遊び場」について、区長の見解を求める	区 長 教 育 長 関係 理事 者

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	林議員 (自民)	アフターコロナの千代田区 千代田区のマンション施策 コロナ禍の高齢者施策等	マンション修繕工事の負担軽減について マンション共用部分修繕工事債務保証料助成 マンション共用部分改修費用助成 高齢者の生活がコロナによりどの様に変化しているか？ 利用者視点に立った高齢者福祉施設の整備	区 長 関係 理事者
7	山田議員 (自民)	町の安全・安心の観点から ○電動キックボードの普及に伴う現状と課題について ○客引き行為等の防止対策の進捗について	・電動キックボードの実証実験も始まり、公道上で使用する若者も増えていて、歩行者との交通トラブルも多発している。区内の実態を伺うとともに、区民へ注意喚起を促す観点から区の問題意識と取り組み姿勢を問う。 ・今年度はじめに外神田地区で発足した「チーム AKIBA 安全・安心プロジェクト」のその後の取り組み状況を伺うとともに、その活動を通して見えてきた課題と今後の展開について問う。	区 長 関係 理事者
8	長谷川議員 (紡ぐ会)	再開発や高層ビル、マンションの建設による区民への影響について。 外神田一丁目南部地区再開発について	・再開発や高層ビル、マンションの建設により、町並みが大きく変化することで、定住区民が減るのではないか。 ・地域コミュニティの崩壊加速につながらないか。 ・「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」申請にあたり、交通等のインフラ負荷について、アセスメント等をどのようにしたか。 ・再開発に隣接する、JRの線路への影響。 ・風害、幅射熱等、超高層ビルの影響について地域住民に十分な説明をしてきたか。 ・防災船着場の役割、具体的にどのような使い方を考えているのか。	区 長 関係 理事者

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
9	小枝議員 (声)	<p>1、千代田区におけるゼロカーボン(CO2 排出実質ゼロ)をどう実現するか。</p> <p>2、気候危機にクール効果が明らかな、街路樹の「樹冠拡大」に本腰を。</p>	<p>樋口区長が「千代田区気候非常事態宣言」したことを受けてお考えを伺います。</p> <p>1) まず隗より始めよ! 区施設のRE100達成の状況、「見える化」を。区の施設すべて再エネ100%へのロードマップは。 「発電する窓」など、新しい技術が開発されている。 区有施設へさらなる再生可能エネルギー活用に向けて野心的な方針を。</p> <p>2) 大規模開発のゼロカーボンはいつどのように。</p> <p>3) 地方との連携のあり方について 孺恋・五城目・飛驒高山・軽井沢など、植樹によるカーボンオフセットのみでなく、ソーラーシェアリングやバイオマス、小水力発電等の活用による、豊かな地方連携に踏み込むことを提案する。</p> <p>4) 子どもたちの環境教育と地方との連携</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
10	たかざわ議員 (自民)	<p>1. 地球温暖化対策について</p> <p>2. 減災対策はどこまで進んでいるか。</p>	<p>他区において、使用電力を全て再生可能エネルギーにするとの報道があった。本区においてもそうすべきと考えるが見解は。 カーボンオフセットについての考えを問う。</p> <p>地球温暖化対策は直ちに効果が出るものではない。 減災対策は喫緊の課題である。進捗状況はいかに。</p>	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	小野議員 (都ファ)	発達障がいの子ども達への支援 について	<p>・発達障がいの幼児、児童、生徒への支援のニーズが今後も高まるなか、地域で気軽に相談できる人の存在は、当事者(保護者)の安心、周囲の理解促進と受容、合理的配慮の提供の認知にもつながる。</p> <p>今後、支援を進めていく中で、区として相談員の設置を検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p>・幼児、児童、生徒に身近な保育士、教員が「発達に特徴のある子ども達」への支援を進めていくうえで、区は現在の現場の状況や支援体制についてどのような課題感を持ち、今後、どのように現場支援を進めていこうとしているのかうかがう。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
12	岩田議員 (立民)	再開発の闇について 超高層が区にもたらずものとは	<p>手続きや権利関係、再開発後の地権者の費用負担など、実際に起きている再開発における様々な問題について区長の見解を問う。</p> <p>超高層建築物を建設することによって、区は税収が増えるし区の財源を使わずして道路整備やバリアフリーなどが実現出来るかもしれないが、その反面デメリットも大きい。超高層の問題点について区長の見解を問う。</p>	区 長 関 係 理 事 者
13	河合議員 (自民)	<p>新型コロナウイルス感染症対応特別資金等支援策の現状。 ポストコロナへの戦略を問う。</p> <p>STEAM (スティーム)教育について。現在の学習指導状況と教育委員会の認識を問う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応特別資金や給付金、支援補助金、キャンペーン等の現状と中間実績。</p> <p>感染症による廃業等地域経済への影響 ポストコロナへの本区戦略。</p> <p>S (科学) T (技術) E (工学) A (芸術) M (数学)</p> <p>2020 年度新学習指導要領で示されたスティーム教育の小・中・高等教育等での取り組みと今後の方向性。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者